

特定非営利活動法人救助犬訓練士協会 (RDTA)

《 2009スマトラ島沖地震出動報告 》

この震災で被災されたスマトラ島の皆さんの復興を祈念いたします。



- ◆2009. 09.30 午後5時半頃インドネシア・スマトラ島でM7.6の地震が発生
- ◆2009. 10.01 韓国サムソンのジョンチョイ氏より連絡があり、ヨーロッパより国際救助犬連盟 (IRO)が救助犬チームを派遣、アジアからの派遣の調整が行われる。RDTAから チームリーダー・島津芳明、村瀬英博&エロス (ジャーマンシェパード)、大島かおり&あかね (ゴールデンレトリバー)を派遣することを決定。
- ◆2日 14:10 JAL725便でジャカルタ空港に向かう。(検疫が非常にスムーズ)
19:45 (現地時間、時差2時間) 空港着。インドネシアの「ツチ」のメンバーによりチャーター便でバラン市に向かう
- ◆3日 02:30 バダン市着。RDC (Reception and Departure Center) としてINSARAG (※)の女性2名がいた。
08:30 対策本部入り。INSARAGが設立したOSOCC (On-Site Operations Coordination Center 現地対策本部)にて登録を済ませ、待機。
10:20 対策本部を出発
10:36 「アマチャンホテル」着。情報ではあと8人ほど行方が判らないとのこと現地警察の方々とエロス、あかねを投入して捜索。生体反応無し。
14:30 捜索内容を警察に報告後、ホテル跡地を出る。
15:00 対策本部にて、待機
16:00 「オーストラリア、イギリス救援隊のBoO (Base of Operations) が置かれているスタジアムに移動するが、IROチーム到着を待つため再び対策本部にて待機。

- 20 : 00 I R Oチームと合流。(オーストラリア、スロベキア、スロベニア、日本) スタジアムとは別の公園にBoOを置く。
- 23 : 30 チームリーダーのマルコ氏よりINSARAGの指揮決定が伝えられる。4日は2チームに別れ、オーストラリアの消防チームと救助活動を行う。
- ◆ 4日 00 : 10 就寝
- 05 : 30 起床。
- 06 : 00 BoOにて待機
- 06 : 40 出発
- 07 : 10 スタジアム到着。オーストラリア消防チームと合流
- 09 : 10 3階建ての病院に到着。救助犬11頭による捜索。生体反応なし。
- 10 : 00 撤収。移動
- 11 : 33 アパートに到着。もう1チームがすでに救助犬による捜索を行っていたが、現地の人の情報によりアパートの居住者で行方が判らなかった人がよそで確認されたとのこと、捜索が終了される。
- 12 : 30 スタジアムに戻り休憩。
- 13 : 10 出発
- 13 : 30 中学校に到着。情報では2名の生徒の行方が判らない、学校内入り可能性があるとのこと。5頭の救助犬を表玄関から、6頭の救助犬を裏から投入する。生体反応なし。オーストラリアのチームリーダーの判断により捜索中止。そのまま重機で建物を壊す作業が始まる。
- 14 : 41 移動、バラン市を車で3時間離れたパリヤカン村に土砂災害が起きているらしいとの情報で向かう。
- 17 : 10 村の中心地に到着。激しいスクロールが始まる。2次災害を避けるため捜索を中断しBoOに戻る。
- 20 : 30 BoOに到着
- 00 : 30 就寝
- ◆ 5日 INSARAGが捜索打ち切りを決定。午後4時に正式発表。
- ◆ 6日 バラン市よりジャカルタに飛行機で移動、22時15分発のJAL 726便で日本へ。
- ◆ 7日 07 : 33 成田着

(※) INSARAG : International Search and Rescue Advisory Group
(国際捜索救助諮問機関)



特定非営利活動法人救助犬訓練士協会 (RDТА)

神奈川県藤沢市葛原766-1

電話： 0466-49-3220

ファックス： 0466-49-3222

メール： hq@rdta.or.jp

Copyright(C)2005-2009 RDТА. All Rights Reserved.